

第 51 回戦争体験文庫資料展示

昭和 8 年 12 月 23 日 「祝皇太子殿下御降誕」の時代



期間：平成 31 年 1 月 5 日～4 月 25 日

解説

今上天皇(きんじょうてんのう、現在の天皇陛下)のご退位により、30年間続いた平成の世は幕を閉じようとしている。平成の間は12月23日が天皇誕生日として国民の祝日になっていたが、お生まれになったのは昭和8(1933)年である。その頃はどんな時代であったかを、今振り返ってみたい。なお、以下では、歴史叙述の慣行に従い原則的に敬語、敬称は用いていない。

父昭和天皇は皇太子嘉仁親王(大正天皇)の長子として明治34(1901)年に生まれ、明治天皇の崩御・大正天皇の即位に伴って1912年皇太子に就任する。大正なかわから病気がちの大正天皇にかわって公務を行うことも増え、その後、病状悪化に伴い大正12(1923)年に摂政に就任する。

一方、母香淳皇后は、皇族の久邇宮家生まれで、大正7年には既に当時の皇太子との婚約が内定していた。しかし、その後元老山県有朋らが色覚異常の遺伝を理由に婚約解消を求めたいいわゆる「宮中某重大事件」が起こり、婚礼自体も関東大震災によって延期されている。成婚後、1926年末の大正天皇の崩御・昭和天皇即位を挟んで、大正14年から昭和6年にかけて4子を得るが、いずれも皇位継承権を持たない女王だった。しかし、昭和8年12月23日ついに皇太子の誕生をみることになる。

以後の経過を『昭和天皇実録』第六巻(東京書籍、2016)によってみよう。分娩が行われたのは6時39分で、その約20分後には、東京市中に皇太子誕生を意味する2回のサイレンが鳴らされ、夜にかけて全国で奉祝行列が行われた。各中央紙は一斉に号外で速報すると同時に、予定稿による第二朝刊を発行している。展示ケース内の昭和8年12月23日付大阪毎日新聞のもそれにあたり、仁丹の宣伝キャラクターが腕を挙げて万歳している珍しい姿が見える等奉祝広告にあふれている。

民間のお七夜に相当する12月29日には、再び全国で奉祝行事が行われた。宮中では、胞衣(えな)埋納の儀・浴湯の儀・命名の儀・誕生命名奉告の儀が行われ、皇太子は「継宮明仁」と名づけられている。翌9年1月22日には皇后床払いが行われ、現在は建国記念日になっている紀元節の2月11日には恩赦が行われた。また、2月23日には、皇太子誕生を記念して、「本邦児童及び母性に対する教化並びに養護に関する諸施設の資」のための下賜金が下されている。これを基礎に、3月13日には恩賜財団愛育会が設立され、現在も母子愛育会として東京で病院や研究所を運営している。ちなみに、奈良市八条にある済生会病院の経営母体恩賜財団済生会も、明

治44年の天皇からの下賜金をもとに設立されたものである。また、2月23日から27日にかけては、皇太子誕生を祝う祝宴が宮中で行われた。

さて、次に日本を取り巻く状況はどうだったのであろうか。詳しくは、次項以下『国際写真情報』に掲載された写真とともに見ていくが、キーは昭和6年に勃発した満州事変だった。満州事変によって、日本は中国とはもちろんアメリカ等との関係も悪化した。前述した皇太子誕生の日の大阪毎日新聞第二朝刊では、雑誌『日の出』の付録「日米戦未来記」広告も見えている。日中戦争が始まる昭和12年までの間は、必ずしも全面的に戦闘が行われていたわけではないが、小競り合いは頻発しており、「15年戦争」といった表現をした場合には、この期間も含まれる。

略年表

元号	西暦	月	事項
大正15 (昭和元)	1926	12	大正天皇崩御、昭和天皇が即位
昭和3	1928	6	関東軍が張作霖を殺害(満州某重大事件)
昭和6	1931	9	柳条湖事件により満州事変勃発
昭和7	1932	1	上海事変勃発(5月に停戦協定)
		3	満州国建国宣言
		5	五一五事件
		9	日本、満州国を承認
		10	国際連盟調査団が満州事変に関する報告書を提出(リットン報告書)
昭和8	1933	3	日本国際連盟脱退を宣言
		12	皇太子誕生
昭和9	1934	3	満州国帝政実施
		5	近衛文麿貴族院議長が渡米しルーズベルト大統領らと会談
		7	首相が斎藤実から岡田啓介に交代
		9	室戸台風
		12	日本ワシントン海軍軍縮条約の破棄を宣言
昭和10	1935	5	満州皇帝溥儀来日
昭和11	1936	2	二二六事件
		11	日独防共協定調印
昭和12	1937	7	盧溝橋事件により日中戦争開始
昭和16	1941	12	日本対英米等宣戦、太平洋戦争開始
昭和20	1945	8	日本ポツダム宣言受諾を通告、終戦
昭和22	1947	5	日本国憲法施行
昭和34	1959	4	皇太子と正田美智子が成婚
昭和64 (平成元)	1989	1	昭和天皇崩御、皇太子が天皇に即位
平成31	2019	4	天皇が皇太子に譲位(予定)

國際寫真情報特輯號

滿洲大事變畫報



見よ!!
この茶炊が我々の苦闘と奮闘の歴史を語る

平糶事件を起した
民國日報社

上海に行ける
抗日大會

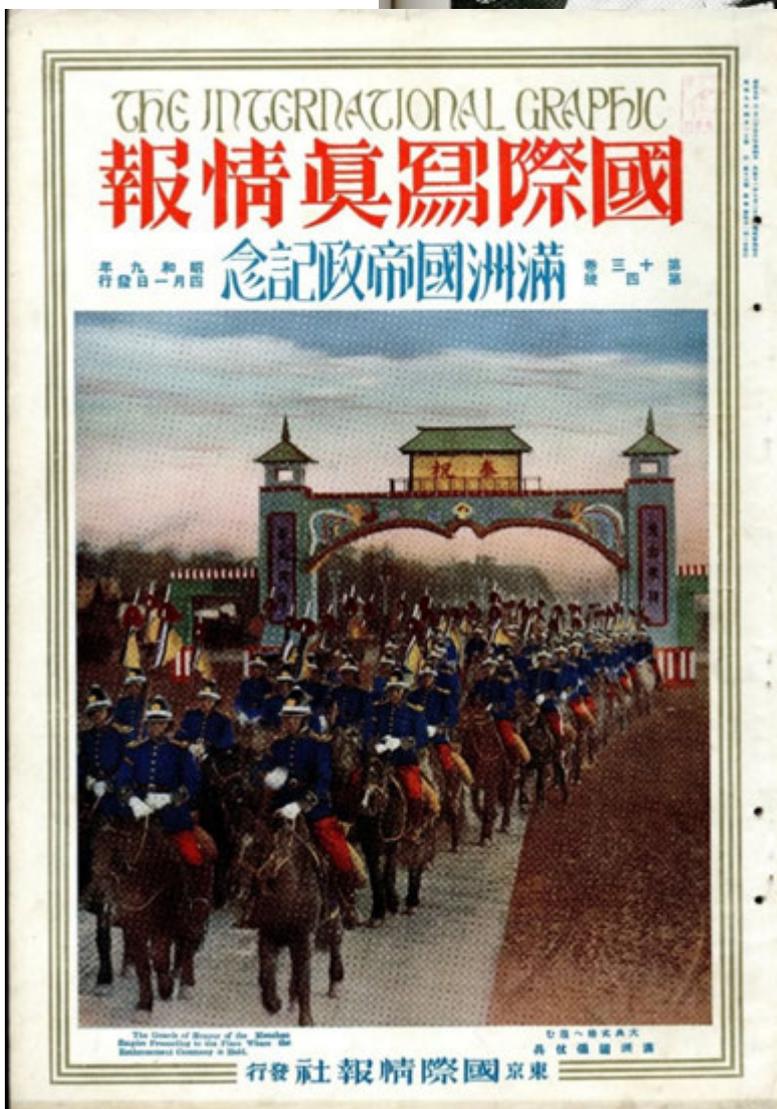
UPPER: The size of the factory of the Whiter Tiger in Shanghai. The new Shanghai news published in the paper made up our Nation's pride, but Shanghai. The flag of the (anti-communist movement) in Shanghai represented by the political party and business leaders, but they were easy taken in hand, such as the photo shown in Shanghai speech meeting.

我軍勇躍 八里橋を突破

多門師團の戦兵式

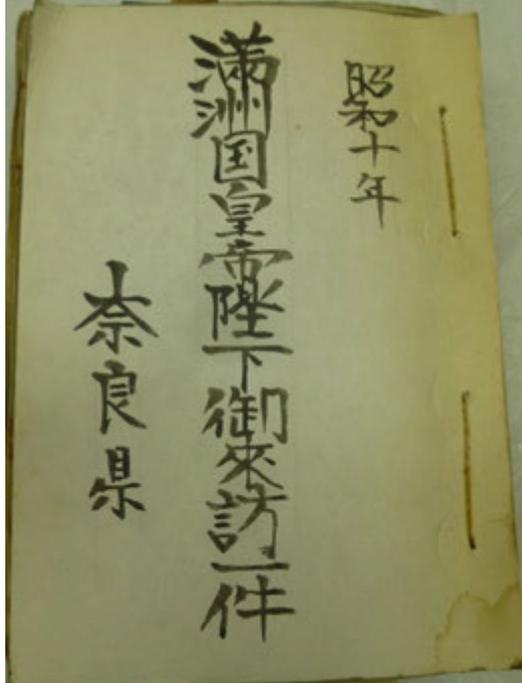
UPPER: General Takeda who arrived in the morning of March in Harbin & gained the whole town in the early morning of the war for a time and was killed in the city one month of the war at the creek bank right, the group was mainly recruited by all classes of Japanese, Chinese, and Koreans. UPPER: The group which formed Harbin made a military parade in the afternoon of January 2 at the central square of the city.

『国際写真情報』上昭和7年1月号、下がともに同3月号。昭和6年9月謀略による柳条湖事件をきっかけに、満鉄付属地に駐留していた関東軍は満州をほぼ占領する。高まりつつあった中国のナショナリズムは、イギリス等中国に権益を持つ諸国へ向けられていたが、満州事変後はもっぱら日本にその矛先が集中することになる。



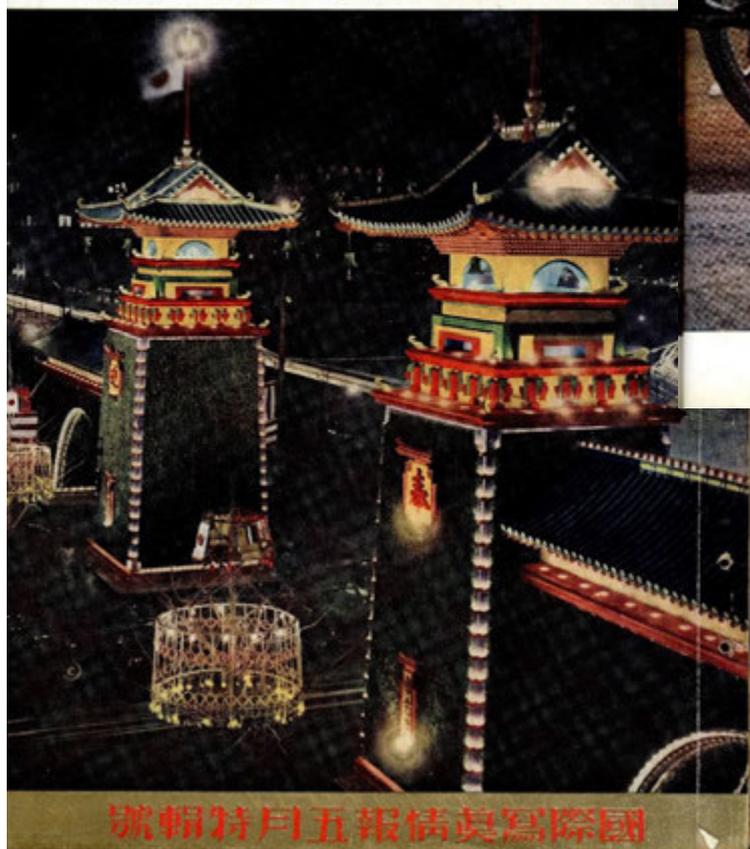
昭和九年八月廿日
 満洲国承認の消息
 満洲国は、八月廿日、正式に
 日本に承認された。これは、
 日本が、満洲に、領土主権を
 行使する権利を認め、満洲を
 保護する義務を負うこととな
 る。これは、日本が、満洲に
 領土主権を行使する権利を認
 め、満洲を保護する義務を負
 うこととなる。これは、日本
 が、満洲に、領土主権を行使
 する権利を認め、満洲を保護
 する義務を負うこととなる。

『国際写真情報』昭和7年8月号、9年4月号。関東軍の独走で始まった満州事変だったが、政府は関東軍や、やはり無命令で越境して事変に加わった朝鮮(駐留)軍の行動を容認した。関東軍は清朝の皇帝であった溥儀を擁立して「満州国」を建国する。日本政府は外交関係を結び、後に満州国は帝政をしいた。



天皇陛下と御同列にて
大毅兵式御親閲の滿洲國皇帝陛下

THE INTERNATIONAL GRAPHIC
下陸帝皇國洲滿
報画念記訪來御



滿報特月五報情真寫際國

左上は奈良県庁文書 1-S10-111、他はともに『国際写真情報』昭和 10 年 5 月号。関東軍の傀儡として意のままにならない日々を送っていた満洲皇帝溥儀は、来日の際の歓待に「私への真心の尊敬、真心からの援助」と感じたこと記している。しかし、帰国後の関東軍のふるまいに接し、日本への期待は幻想に過ぎなかったと後年回顧している(『わが半生』下、1977、筑摩書房)。

展示図書

全体

請求記号	書名	著者名	出版者	出版年月	所在
050-コグ-Z	国際寫真情報 昭和7-10年各号		国際寫真情報社	1932-35	書庫1
288.41-アキヒ	明仁天皇と裕仁天皇	保阪正康著	講談社	2009.5	一般資料
288.41-シヨウ	昭和天皇伝	伊藤之雄著	文藝春秋	2011.7	一般資料
288.41-アカシ	今上天皇つくらざる尊厳：級友が綴る明仁親王	明石元紹著	講談社	2013.12	一般資料
288.41-シヨウ	裕仁はいかにして昭和天皇になったか(昭和天皇実録評解:[1])	小田部雄次著	敬文舎	2015.9	一般資料
288.41-シヨウ	昭和天皇実録 第6	[東京書籍編]	東京書籍	2016.3	一般資料

満州事変関連

請求記号	書名	著者名	出版者	出版年月	所在
210.7-0010	満洲事變：滿蒙問題の清算? 12版	島屋政一著	大阪出版社	1931.11	戦争体験文庫
308-10-6	満洲事變と日華及各国關係資料：官廳要覽(鐵道省の部)(内外調査資料:第4年第1輯)		調査資料協會	1932.1	書庫1
319.9-11	国際聯盟支那調査委員會報告書ニ對スル帝國政府意見書	陸軍省調査班[編]	陸軍省調査班	1932.11	書庫1
210.7-1311	關東軍記念寫眞帖：昭和六、七年満洲事變		[關東軍司令部]	1932.12	戦争体験文庫
210.74-3212	昭和七年満州事變上海派遣軍記念写真帖]陸軍恤兵部]	1932.12	戦争体験文庫
210.7-1310	満洲事變の經過(世界知識増刊)	仲摩照久編	新光社	1932.2	書庫1
292.25-0010	満洲事變上海事變新満洲國寫眞大觀		大日本雄辯會講談社	1932.4	戦争体験文庫
319.9-10	満洲事件に關する理事會の議事：一九三一年九月一九日より一九三二年一月二十五日まで	国際聯盟事務局東京支局[編]	国際聯盟事務局東京支局	1932.4	書庫1
210.7-0000	満洲事變寫眞帖	南満洲鐵道株式會社總務部庶務課編著	南満洲鐵道	1932.5	戦争体験文庫
210.7-1310	満洲事變勃發滿一年	[陸軍省編]	陸軍省	1932.9	書庫1
310.9-4	満洲事變及上海事變關係發表集 5	外務省情報部[編]	外務省情報部	1933	書庫1
308-10-17	米管理に關する資料・リットン報告書に對する意見書(内外調査資料:第5年第1輯)		調査資料協會	1933.1	書庫1
319.1-0000	国際聯盟離脱に關する詔書衍義	加藤熊一郎謹述	中央教化團體聯合會	1933.5	戦争体験文庫
393-シヨウウワ-1311	昭和六年満洲事變第十四師團記念寫眞帖		陸軍恤兵部	1933.6	戦争体験文庫
319.09-2	満洲事變及上海事件關係公表集	外務省情報部編	[外務省情報部]	1934	
210.7-1311	關東軍記念寫眞帖：満洲事變	[陸軍恤兵部編]	[關東軍司令部]	1934.3	戦争体験文庫
210.7-6	満洲事變の世界史的意義	綾川武治著	大陸國策研究所	1936	書庫1
210.7-1210	満洲事變繪卷 第1至5卷	武藤夜舟畫	軍人會館出版部	1937.3	戦争体験文庫
913.6-0000	皇帝溥儀	山田清三郎著	東邦出版社	1973	戦争体験文庫
289.2-55-1	わが半生：「満州国」皇帝の自伝 上,下(筑摩叢書:245-246)	愛新覺羅溥儀著/小野忍[ほか]訳	筑摩書房	1977.12	書庫1
210.7-61-8	満洲事變と國民動員(資料日本現代史:8)	藤原彰,功刀俊洋編集・解説	大月書店	1983.10	書庫1
222.07-89	極東戦線：一九三一～三四：満洲事變・上海事變から満州国まで(筑摩叢書:318)	エドガー・スノー著/梶谷善久訳	筑摩書房	1987.12	書庫1
210.7-1910	未公開写真に見る満洲事變(別冊歴史読本:75特別増刊)		新人物往来社	1988.10	戦争体験文庫
222.07-90	「満州国」見聞記：リットン調査団同行記	H・シュネー著/金森誠也訳	新人物往来社	1988.11	書庫1
210.7-0010	満洲事變の國際的背景	渡辺明著	国書刊行会	1989.4	戦争体験文庫
289.2-110	溥儀日記	溥儀[著]/王慶祥編/錢端本[ほか]訳	學生社	1994.10	書庫1

222.07-ソ ンク	満州事変とは何だったのか：国際連盟と外交政策の限界 上,下巻	クリストファー・ゾーン 著/市川洋一訳	草思社	1994. 11	書庫1
070.21-イ ケタ	記者たちの満州事変：日本ジャーナリズムの転 回点	池田一之著	人間の科学新社	2000. 4	書庫1
080-コウ タ-1567	「満州国」見聞記：リットン調査団同行記（講談 社学術文庫:[1567]）	ハインリッヒ・シュネー [著]/金森誠也訳	講談社	2002. 10	書庫1
319.102- コイケ	満州事変と対中国政策	小池聖一著	吉川弘文館	2003. 12	書庫1
080-コウ タ-2003	満州事変（講談社学術文庫:[2003]）	島田俊彦 [著]	講談社	2010. 7	書庫1
222.5-ハ タノ	昭和天皇とラストエンペラー：溥儀と満州国の真 実	波多野勝著	草思社	2007. 6	書庫1
210.7-96- H33.1	満州事変日誌記録 第1～3冊（十五年戦争極秘 資料集:補巻33）	芳井研一解説 太平洋戦争研究会編 著	不二出版 PHP研究所	2009. 3- 12	書庫1 一般資 料
210.7-タ イヘ	石原莞爾と満州事変			2009. 12	一般資 料
210.7-オ カタ	満鉄と満州事変意外史	岡田和裕著	光人社	2009. 9	一般資 料
780.69-カ シワ	オリンピック返上と満州事変（バウンダリー叢書）	梶原英之 [著]	海鳴社	2009. 9	書庫1
080-コウ タ-2003	満州事変（講談社学術文庫:[2003]）	島田俊彦 [著]	講談社	2010. 7	一般資 料
080-23- 1.252	満州事変：政策の形成過程（岩波現代文庫:学 術:252）	緒方貞子著	岩波書店	2011. 8	一般資 料
080-コウ タ	満州事変（講談社現代新書:2272. 昭和陸軍全 史:1）	川田稔著	講談社	2014. 7	一般資 料
319.102- ツツイ	満州事変はなぜ起きたのか（中公選書:022）	筒井清忠著	中央公論新社	2015. 8	一般資 料
210.08-ニ ホン	溥儀：変転する政治に翻弄された生涯（日本史 リブレット人:099）	塚瀬進著	山川出版社	2015. 7	一般資 料

愛育会刊行物

請求記号	書名	著者名	出版者	出版 年月	所在
599-10	愛育讀本	倉橋惣三(ほか)著/愛 育會編	三省堂	1935. 11	書庫1
358.012- 1-1	出産・出生・死産及乳幼児死亡統計 [2] [3] (愛 育調査資料:第2,3輯)	恩賜財団愛育會[編]	恩賜財団愛育會	1936. 3	書庫1
358.013-3	原因・月及日齡月齡乳兒死亡統計(愛育調査 資料:第4輯)	恩賜財団愛育會 [編]	恩賜財団愛育會	1938. 10	書庫1
599-6	愛育のこころ：こどもの保健と教養	恩賜財団愛育會編	三省堂	1940	書庫1
498.18-3- 1~3	保健婦教本 第3-5巻：看護,豫防,母性篇	恩賜財団愛育會,中 央社会事業協會編	刀江書院	1942	書庫1
371.4-51	幼児の言語發達(愛育研究所紀要:教養部第2)	愛育研究所編	目黒書店	1943.	書庫1
493.9-8	小児保健指針	母子愛育會小児保健 部會編	日本小児医事出 版社	1950. 1	書庫1
386.2-2	日本産育習俗資料集成	恩賜財団母子愛育會	第一法規出版	1975.	ふるさと
498.7-オ ンシ	母子愛育會七十年史	編纂委員会編	恩賜財団母子愛 育會	2005. 3	書庫1
367.6-ホ シア	子ども虐待対応の手引き 平成17年3月25日改定 版	恩賜財団母子愛育會 日本子ども家庭総合 研究所編	有斐閣	2005. 9	書庫1
367.6-ホ シア	日本子ども資料年鑑 2007,2011,2016	日本総合愛育研究所 編	中央出版		書庫1
360-ニホ ン-Z	日本総合愛育研究所紀要 30-33		日本総合愛育研 究所	1994- 97	書庫1
360-ニホ ン-Z	日本子ども家庭総合研究所紀要 34-50		日本子ども家庭 総合研究所	1998- 2014	書庫1
490-ホシ ホ-Z	母子保健情報 35-68		母子愛育會	1997- 2014	書庫1

2019年1月

奈良県立図書情報館 編・発行